

愛知県子ども読書活動推進計画（第二次）に対する県民からの意見募集結果

1 募集期間

平成21年6月11日（木）から平成21年7月10日（金）

2 提出された意見

4名、5件

3 応募の状況

(1) 提出方法

郵便	ファクシミリ	電子メール	合計
1	2	1	4

(2) 性別

男性	女性	合計
1	3	4

(3) 年代別

30代	40代	50代	合計
1	2	1	4

(4) 地域別

名古屋	尾張	海部	知多	西三河	東三河	他	合計
1	0	1	1	0	0	1	4

(5) 職業別

会社員	主婦	公務員	合計
1	2	1	4

4 意見の概要と県の考え方

番号	意見の概要	県の考え方
1	<p>子どもの読書活動が盛んになることを期待する。読書活動をすすめる取組を学校で広めてほしい。</p>	<p>学校において、子どもが本に親しむことができるように、「朝の読書タイム」「全校一斉読書」等の取組や、公立図書館との連携による「読み聞かせ」「ブックトーク」等の取組が広がっています。第二次計画では実施率を数値目標化し、推進に努めていきます。</p> <p>【第2章の5に記載しています】</p>
2	<p>計画にはマンガの記載はないが、多くの児童生徒が読んでいるマンガは教育上どう位置づけられているのか。</p>	<p>学校教育の中でマンガは、教育の目標や指導内容等に位置付けられてはいません。なお、読書の意義や目的から、今のところマンガは児童生徒に推奨する読書の対象として考えていません。</p>
3	<p>小中学校での読書をする時間の機会提供の取組を高校や特別支援学校でも実施するとよい。</p>	<p>高校や特別支援学校では、小中学校に比べ実施率は低いものの、「朝の読書タイム」「全校一斉読書」等の取組は実施されており、年々増加しています。第二次計画では実施率を数値目標化し、推進に努めていきます。</p> <p>【第2章の5に記載しています】</p>
4	<p>「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業は、高校・特別支援学校にも推進してほしい。</p>	<p>公立高校では、約6割の学校が図書館に推薦図書コーナーを設置したり、8割以上の学校が図書館便りの発行等をするなど、生徒の読書活動の啓発に取り組んでおります。</p> <p>「みんなにすすめたい一冊の本」中学生版は、8月末に県内公共図書館にも配付されますので、このことを高校へも周知し、読書活動の一層の推進に努めていきます。</p> <p>また、特別支援学校においては、全学校において上記の内容を実施しております。</p>
5	<p>高校生の読書離れがある。高校生の読書活動推進の取組を期待する。</p>	<p>全国学校図書館協会実施「第53回学校読書調査」で、高校生の5月1ヶ月間の読書冊数が1.5冊、1冊も読まなかった高校生が51.5%という結果が報告されています。この結果を受け止め、県内高校における読書活動の取組のさらなる推進に努めていきます。</p> <p>【第2章の5、8に記載しています】</p>

